

長崎79回目「原爆の日」

長崎市長・平和宣言

全文

原爆を作る人々よ！
 しばし手を休め 眼をどじ
 結(たま)え
 昭和二十年八月九日！
 あなた方が作った 原爆で
 幾万の尊い生命が奪われ
 家 財産が一瞬にして無に
 帰し
 平和な家庭が破壊しつくさ
 れたのだ
 残された者は
 無から起(た)ち上がらね
 ばならぬ
 血みどろな生活への苦しい
 道と
 明日をも知れぬ「原子病」
 の不安と
 そして肉親を失った無限の
 悲しみが
 いついつまでも尾をひいて
 行く
 これは23歳で被爆し、原爆

症を闘いながらも原爆の悲惨
 さを訴えた長崎の詩人・福田
 須磨子さんがつづった詩で
 す。
 家族や友人を失った深い悲
 しみ、体に残された傷痕(けずり)長
 い年月を経ても細胞をむしば
 み続け、さまざまなお病気を引
 き起こす放射線による影響、
 被爆者であるが故の差別や生
 活苦。原爆は被爆直後だけで
 なく、生涯にわたり被爆者を
 苦しめています。
 それでも被爆者は、「世界
 中の誰にも、一度と同じ体験
 をさせない」との強い決意で、
 苦難とともに生き抜いた自ら
 の体験を語り続けているので
 す。
 被爆から79年。私たち人類
 は、「核兵器を使ってはなら
 ない」という人道上の規範を

守り抜いてきました。しかし
 実際に戦場で使うことを想定
 した核兵器の開発や配備が進
 むなど、核戦力の増強は加速
 しています。
 ロシアのウクライナ侵攻に
 終わりが見えず、中東での武
 力紛争の拡大が懸念される
 中、これまで守られてきた重
 要な規範が失われるかもしれ
 ない。私たちはそんな危機的
 な事態に直面しているので
 す。
 福田さんは詩の最後で、こ
 う呼びかけました。
 原爆を作る人々よ！
 ③今こそ ためらうことなく
 手の中にある一切を放棄す
 るのだ
 そこに初めて 真の平和が
 生まれ
 人間は人間として蘇ること
 が出来るのだ
 核保有国と核の傘の下にい
 る国の指導者の皆さん。核兵
 器が存在するが故に、人類へ
 の脅威が一段と高まっている
 現実を直視し、核兵器廃絶に
 向け大きくかじを切るべきで
 す。そのためにも被爆地を訪
 問し、被爆者の痛みと思いを
 一人の人間として、あなたの
 良心で受け止めてください。
 そしとどんなに険しくても、
 軍拡や威嚇を選ぶのではなく、
 対話と外交努力により平
 和的な解決への道を探ること

を求めます。
 唯一の戦争被爆国である日
 本の政府は、核兵器のない世
 界を真摯(しんじ)に追求す
 る姿勢を示すべきです。その
 ためにも一日も早く、核兵器
 禁止条約に署名・批准するこ
 とを求めます。そして、憲法
 の平和の理念を堅持すること
 もに、北東アジア非核兵器地
 帯構想など、緊迫度を増すこ
 の地域の緊張緩和と重縮に向
 け、リーダーシップを発揮す
 ることを求めます。
 さらに、平均年齢が85歳
 を超えた被爆者への援護のさ
 らなる充実と、いまだ被爆者
 として認められていない被爆
 体験者の一刻も早い救済を強
 く要請します。
 世界中の皆さん、私たちは、
 地球という大きな一つのまち
 に住む「地球市民」です。
 想像してください。今、世
 界で起きているような紛争
 が激化し、核戦争が勃発する
 どころなるのでしょうか。人
 命はもちろんのこと、地球環
 境にも壊滅的な打撃を与え、
 人類は存亡の危機にさらされ
 てしまいます。
 だからこそ核兵器廃絶は、
 国際社会が目指す持続可能
 な開発目標(SDGs)の前
 提ともいえる「人類が生き残
 るための絶対条件」なので
 す。
 こう長崎でも、核兵器のな
 い世界に向けて、若い世代を
 中心とした長年の動きがさら

に活発になっています。今年
 5月には、若者版ダボス会議
 と呼ばれる国際会議「ワン・
 ヤング・ワールド」の平和を
 テーマとした分科会が、初め
 て長崎で開催されました。
 世界の若い世代が主役とな
 って連帯し、行動する輪が各
 地で広がっています。それは、
 持続可能な平和な未来を築く
 ための希望の光です。
 平和をつくる人々よ！
 一人一人は微力であつて
 も、無力ではありません。
 私たち地球市民が声を上
 げ、力を合わせれば、今の難
 局を乗り越えることができ
 る。国境や宗教、人種、性別、
 世代などの違いを超えて知恵
 を出し合い、つながり合えば、
 私たちは思い描く未来を実現
 することができる。長崎は、
 そう強く信じています。
 原爆弾により亡くなられ
 た方々に心から哀悼の誠をさ
 げます。
 長崎は、平和をつくる力に
 なることする地球市民との連
 帯のもと、他者を尊重し、信
 頼を育み、話し合いで解決し
 ようとする「平和の文化」を
 世界中に広めます。そして、
 長崎を最後の被爆地にすると
 めに、核兵器廃絶と世界恒久
 平和の実現に向けてたゆむこ
 となく行動し続けることをこ
 こに宣言します。
 2024年(令和6年)8
 月9日
 長崎市長 鈴木史朗

上の長崎市長・平和宣言を読んで、下の問いに答えましょう。
 1 傍線部①のことを、詩の中では何と言っていますか、漢字3文字で書きましょう。

--	--	--

2 詩人、福田須磨子さんのように、被爆者が自らの体験を語るのには、何のためだと
 と言っていますか。解答欄に合わせて、本文中から抜き出しましょう。

ため

3 傍線部②とはどんな規範ですか。解答欄に合わせて、本文中から抜き出しまし
 しょう。

という規範

4 傍線部③とはどういうことですか、本文中から漢字5文字で抜き出しましょう。

--	--	--	--	--

5 傍線部④とはどんな文化かを説明した次の文の空欄に、本文中から適語を抜き
 出して入れましょう。
 他者を

 し、

 を育み、

 で解決する文化。

「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」
 で平和宣言を読み上げる長崎市の鈴
 木史朗市長＝9日午前



NIEワークシートのこたえ（2024年8月15日公開）

◆ワークシート「長崎市長・平和宣言(社会)」

2024.8.10付 朝刊 国際総合 4面 解答

- 1 原子病
- 2 世界中の誰にも、二度と同じ体験をさせないため
- 3 核兵器を使ってはならない という規範
- 4 核兵器廃絶
- 5 尊重 信頼 話し合い